

足踏 活動休止

しずおか大道芸新聞

第11号

静岡市を中心に活動してきたストリートミュージシャン「足踏」が、昨年末をもって六年間続けた活動を休止した。その理由は、本人たちの発表によると「今後の更なる音楽性向上の為の追究及び継続の為」「前進の為の足踏み」とのこと。今回、二人にその理由をさらにつっこんで話を聞いてみた。そこには妥協したくない故の苦渋の選択があったようだ。



休止前最後のライブで歌う足踏（静岡市某スタジオ）

「詳しく話すとは泥臭い話になってくるんだけど・・・」とリーダーのゼリイが言いながら、二人との話は始まった。

足踏は二年ほど前から、以前は毎週やっていたストリートライブを月一回のペースに減らし、ラジオ番組やライブハウス・カフェバーなどでのライブと活動範囲を広げていった。ライブのない日も練習や作曲活動、レコーディングなど、ライブ以外の時間を多く取っていた。特にCDのレコーディングは、その時の自分たちの音楽を『形』にしておきたいという想いが強く、精力的に制作していた。

一つのアルバムができあがり、ちよつと期間を空けた後、すぐに次のレコーディングの構想に取りかかる。「次作は、更に、もっと良いものになりたい」「違うものをみんなに聴いて欲しい」という気持ちで毎回募ってくる。

それを、自分たちだけでなく、聞いてくれるお客さんも求めている

足踏（あしぶみ）

「全国のリーダー」とことゼリイ（写真・右）とえつちゃん（写真・左）の男女二人組。

九七年ユニット結成。静岡市青葉通りでの路上ライブから活動を始めた。聴かせるだけでなくエンターテインメントを重視したパフォーマンスで、ライブのときはいつも多くの聴衆に囲まれている。CDアルバム「はじめ」「塩」「梅」「右クリック」、ミニアルバム「寄せ鍋」。

と思うとプレッシャーが大きくなってしまふ。プレッシャーは、イヤなわけではなく、「死ぬほどそれに応えたい」（ゼリイ）。

良いものを作りたいと思うのは確かなのだが、それが自分たちの中から湧き起こるのではなく、周りから求められ続けることで、いつしかモチベーションがすり減ってきているように感じた。

そのような精神的な葛藤と、もう一つは技術向上という課題。

次へ次へと制作活動を繰り返している、だんだん自分たちの「音楽」という引き出しも使い切ってしまう、新しいことに挑むための技術不足に陥ってしまった。

期待に応え、更にクオリティの高いものを作っていくのは難しいことだが、やるからにはしっかりとした良いものを作りたい。その想いは二人とも強く、追求するためにいろんなことを話し合うが、意見の違いや、妥協をしたくない、ゆずれない部分などで言い争いになることもあった。

二人をよく知る友人からは、「とことん言い争いはやってみて、それでダメ（解散）だったらしようがない。でもそこまでやるべき」というアドバイスもあった。しかし、六年間やってきて、音楽をや

っていく上で、この二人でやっているのは最高であるとお互いわかっている。だから解散するのでなく、なんとかこの壁を乗り越えて、この二人というユニットにこだわりたいかった。

このように様々な点で悩み、話しあった結果が、冒頭に書いた活動休止という決断だった。昨年十月に年内いっぱいでの休止を明らかにし、残り二ヶ月、六本のライブを全力でやっていった。

そして十二月二十八日、市内のスタジオで行われた休止前ラストのライブでは、今まで「足踏」でやってきた曲をすべて歌いきり、活動休止に入った。

現在、ゼリイは、同時進行していたソロプロジェクト「サイバーク」の活動を続けている。また、「足踏」を聞いて音楽をやり始めた人のために、ギター教室やSongライヴなども主宰している。

えつちゃんもソロプロジェクトに向けてゆつくりと着実に準備を進めているところだ。

また一昨年から、二人もメンバーとなつている十二人に及ぶユニット「アニ〇（マル）」も活動中。ポリバケツや計量カップを打楽器にしたり、空き缶やヤクルトの容器に砂利を入れ、マラカスにするなど身近なものを楽器にしている。

メンバーの中には、今回初めて音楽活動をする人もいるなど、良い意味で「素人の集まり」。しかし、その雰囲気が見ている人にも自分にもできそうだなと親近感を沸かせる。定期的な活動予定はまだないが、今後、名前を耳にした

らぜひチェックしていただきたい。
「足踏」や「アニ〇」の特徴は、歌や曲などの音楽性だけでなく、聞いて・見ていて非常に楽しませてくれるところだ。一時期の充電後、二人自身がまた楽しみながら「足踏」の音楽をし、聞いている人も巻き込むライブを見られる日が、きつと来ると信じたい。

文 【いっちゃん】
写真 【めぐっさん】

足踏ホームページ
<http://bunni.ingn.net/>

サイバーPホームページ
<http://hello.to/cyber-p/>

しずおか大道芸新聞からのお知らせ

しずおか大道芸新聞のバックナンバーを静岡中央図書館・静岡追手町図書館で誰でも閲覧する事が出来るのをご存知ですか？
置いてある場所は図書館スタッフにお尋ね下さい。

路上の Standing Ovation

～ドキュメント 大道芸のまちづくり～

#2

昨年十一月十九日、私は、「しずおか大道芸のまちをつくる会（通称・しまる会）」の要望書を手紙で、静岡市役所を訪ねた。

要望書には三つの項目があった。
1・青葉シンボルロード（青葉通り）を大道芸で利用するときの予約システムの改正について。
2・青葉の予約状況をインターネットで市民に情報公開すること。
3・市が一昨年の議会で言明した「さらなる大道芸の場所の確保」を早期実現すること。

各項目の説明と、要望の結果について、今号と次号二回に分けて書いていきたい。

1・青葉予約システム変更

青葉通りは、平成五年、「大道芸を静岡市に定着させ、もって人の集まるまちづくり事業を推進するため」（静岡市「大道芸人のためのパフォーマンス通り開放基準」）大道芸に「開放」された。この「基準」の主な内容は、一般には有料である青葉の占有使用を、大道芸については無料にするというものである。（ちなみに青葉使用料は場所や時間によって違うが、例えば市役所に面した広場を「午後」の区分で借りると二万二千四

百円）

街の目抜き通りにある青葉を大道芸で安心して使えるというのは、全国的に見ても恵まれた環境だとも私は思う。しかし、実際には青葉での大道芸は頻繁に行われているとは言えない。
その要因は大きく二つある。

一つは、基準が制定された当初に比べ、現在は青葉で行われるイベントの数が大きく増えたため、大道芸で利用できる機会が少なくなったこと。人通りに面した箇所が週末に空いているのは、平均してひと月に三日ぐらいである。ちなみにこの新聞が発行される三月は一日も空いていない。
二つ目の要因は、青葉利用の予約制度の使いにくさがあった。大道芸のために予約をしても、他のイベント等でその日の使用希望があると、イベントの方が優先される。大道芸の予約は例え前日のことであってもキャンセルされた。あくまでも「有料の」イベントが優先という理由であった。

もちろんそれでは使いにくいこととは言ってもないが、特に遠方から来るパフォーマーにとつてはリスクが大きく、敬遠されがちだった。実は今回この要望書を出したきっかけは、実際に名古屋在住のパフォーマーが青葉に予約を入れていたのが、公演予定の三日前にキャンセルされてしまったことがあったからだ。

しまる会の要望は、「一ヶ月前から、大道芸予約がキャンセルされないようにしてほしい」という

ものだった。結果を言うと、この要望は百パーセント受け入れられ、制度改正に至った。

市が、公園使用による収入よりも、大道芸のための利用しやすさを優先する判断をしたことは、嬉しく思う。

2・青葉情報のネット公開

青葉のイベント予約状況を、インターネットで公開してほしいという要望も行った。これには二つの意味がある。利用者「使いやすさ」と、見る側に対する「広報」である。

現状、利用者は市役所の公園緑地課に向いて、青葉が空いている日を確認して予約をする。これは、はっきり言って面倒臭い。特に遠方在住の人にとつては、これだけネットが普及しているのだから、ネットで予約手続きを出来るようにすればいいではないか。現に、公民館やスポーツ施設の予約手続きはネットで出来る。

このネット予約の要望は、却下された。理由は「利用者に公園使用の説明が必要」（健康文化部イベント推進課）ということだった。ただし、何度も利用している人は現状でも電話での申し込みが可能なことであり、そこはしまる会の認識違いであった。

青葉予約状況の「広報」については、現在、イベント推進課と広報課とで研究中のこと。

「3・さらなる大道芸場所の確保」については、また次回に。

文【ひこ】

新人芸人 路上デビュー

青葉合同ストリート

「街中で大道芸やる芸人さんが減ってきたね。」そんな言葉を最近よく聞く。確かに芸人は減ってはきている。しかし芸人の卵は結構いるのだ。卵達にもっと路上に出てきて欲しい。そのきっかけになる様に合同ストリートパフォーマンスを企画してみた。

十二月二十日に行われたが、この日は風花が舞うほど厳しい寒さ。それでもパフォーマーをする芸人さんや話を聞いて見に来てくれた人達が青葉公園に集まった。大道芸サークルW a p s からさぼ子・のっぺい・空良☆の三人の芸人の卵が参加。それぞれが得意な道具を使った芸を披露してくれた。

さぼ子はほのぼのとした癒し系パフォーマー。クラブスイングとパルーンを見せてくれたが、本人の手柄がそのまま伝わるような優しく穏やかなパフォーマー。「寒かったらの一言につきます」と本人も言っていたが、そんな手がかじかむ中、可愛らしいパルーンを作ってくれた。

のっぺいはデビルステイックの技を披露。真面目な彼らしいパフォーマンスの中に、ちよっとお茶目なところも見せてくれた。まだ路上に立つのは・・・と自信無さそうにしていたが「楽しかった。またやりたい。」と次回に意欲的。

独特の雰囲気を持っているので、これからどんなパフォーマンスをやってくれるか期待したい。

そして空良☆は本人が大好きな道具、ディアポロをやってくれた。何度も風に流され、思う様には出来なかったが終わってから「スッキリした。やって良かった。」と言ってくれた。受験の為、暫く大道芸から離れ、静岡を出ていくかもしれない空良☆にとっては次にいつこの場所でやれるかはわからない。でもどこへ行ってきつと成長して、スタート地点であるこの静岡にまた帰ってくるだろう。

この日は新人以外にも大勢の芸人が参加。静岡ではお馴染みのあまる、もーりーは普段とは違え、この日だけの特別ネタに挑戦して

くれた。

あまるのパフォーマンスでは知ってる人には懐かしいロボが登場。

もーりーは当日まで準備していたバルーン&マジックショー。ネタは違ってもいつもの和んだ雰囲気のパフォーマンスになった。

若い大会での優勝経験もあるももっち、レイの両名も参加。

ももっちは寒さで震えながらもいつも通りの楽しいパフォーマンスを見せてくれた。

レイはディアポロの技を披露してくれたが、見る人が「今の何!?」と思うような彼にしか出来ないような高度な技を連発し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた。

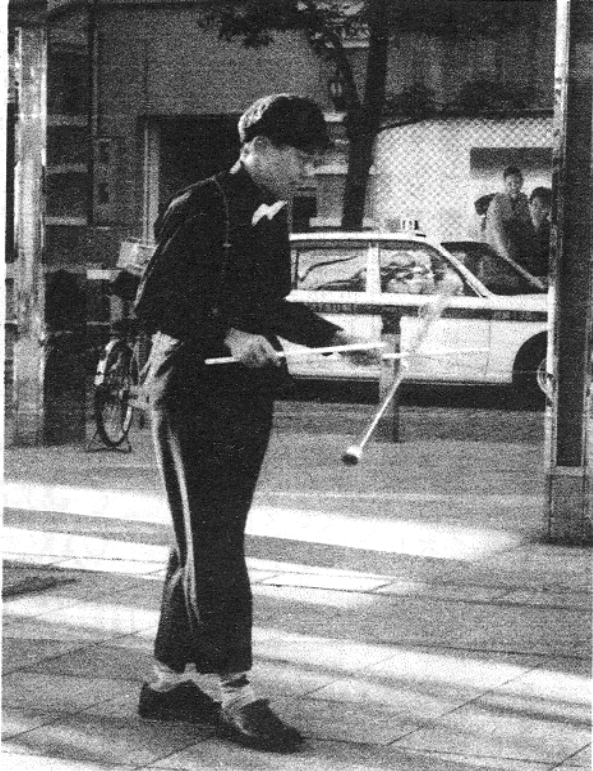
浜松の大道芸サークルすばからも TOKY・カビゴン・シホゴンの三人が参加。

TOKYは昨年の大道芸ワールドカップにも出場した、静岡ではお馴染みの芸人。この日の強風でいつものポイのパフォーマンスは出来なかったがそれでも素晴らしいパフォーマンスを披露し、寒さに負けず道行く人々の足を止める実力はさすが。それでも「このような企画があると、良い刺激になります。」と謙虚なコメント。

カビゴン・シホゴンは「一人でやる勇気がなかったの。」とコンビでの参加。そんな自信なきげなコメントだったが、二人で息の合ったパフォーマンスを見せてくれた。構成がしっかりして、卵達のお手本になるようなパフォーマンス。終わってからは「反省だらけ」とカビゴン、「恥ずかしさが残った」とシホゴン。しかし「ストリートでの経験を積んでいきたい」との前向きなコメント。次回も参加の意気込みを見せてくれた。

過去に何度かあった合同パフォーマンスを私は知らない。そのため企画者として何をしたいのかわからなかった。この場を新人にとってやり易い環境にする事が出来たとはとても言えなかった。それでも参加者から「楽しかった。またやりたい」との声が聞けたのが嬉しかった。

これからも続けていきたいと思っただ。多くの新人がここから出発する事を願って。



華麗にデビルステッキを操る「のっぺい」

文・写真【りむ】

「わらしなちびこ」 パフォーマンス

平成十五年九月三十日から十一月十八日の間の毎週火曜日、静岡市薬科公民館主催講座「めざせ大道芸人! ジャグリングを始めよう」が同公民館で開かれた。講座に参加したのは静岡市薬科を中心に小学生からお年寄りまで幅広い世代の二十人のジャグリング未経験者。そして私、静岡の大道芸人あまるが講師をつとめた。

講座の内容は自分の芸名を考えたの自己紹介ゲームに始まり、ゴムボールと鳥の餌を使つてのジャ



左から「みいこ」「アッチ」「マウト(下)」「ケンタロス(上)」「あまる」「モッチ」「りよーたん」「たっぺい」

グリングボール作り、大道芸のビデオ上映会やジャグリングの練習、ジャグリングのゲームなどで、参加者全員が楽しみながら自分のペースで少しずつ上達していった。講座が終わりにさしかかったある日、同公民館のクリスマスイベントの中で、磨いた腕を披露する機会があることを告げると、参加者の一人、負けず嫌いでこだわり肌の小学四年生「たっぺい」が参加意欲を表明した。それを皮切りに次々と名乗りを挙げた他の六人の子供たち——「モッチ」は講座一のエースジャグラーで、「りよーたん」は照れ屋だが腕前はピカリとした本物、「アッチ」は誰より一生懸命でとつてもチャーミングな女の子、「ケンタロス」は練習嫌いなながらも芯のあるしっかり者、「マウト」はマスケット的なかわいい存在ながら講座一の問題児、「みいこ」は大道芸W杯の作文が印象的な楽しいこと大好きっ子。七人の子供たちがチビサン

タに扮しチャレンジした、初めてのジャグリングショー「サンタチビサンタ」は、サンタとチビサンタのクリスマスイブ前夜のやりとりを描いたコメディ調の寸劇で、大人の講座参加者のサポートもあつて大成功。こうして「わらしな」ちびっこパフォーマーは舞台デビューを果たした。

年が明けた平成十六年二月。子供たちは三組に分かれて財団法人静岡県舞台芸術センター（SPA C）主催の「異才天才奇才こども大会」に参加し、静岡芸術劇場の舞台に立った。演目は三組ともジャグリングによるコメディ寸劇で、本番のステージではどの組も勝負強さを発揮し、劇場を埋め尽くした三百人の観客の笑いをさそった。大成功だった。正直なところ練習は万全とはいえず、本番に備えて集中して練習に専念、というよりは、練習でみんなが集まることに嬉しくて頑張っていたようにも見えた子供たち。この舞台に立つことの凄さを、みんなはあと何年経ってから知るのだろうか。「来年も出るぞ」「おう出るぞ」：盗人あべこべジャグリングの題でパフォーマンスした、こだわり肌の「たつてい」とエース「モッチ」の本番直後の会話だ。子供たちはこれからもいろんなことにチャレンジしていくのだろう。それはジャグリングに限ることではないが、ジャグリングを通じて育んだ素晴らしい友情を、これからも大切にしていくことを信じている。

文 【あまる】
写真 【あまら】



ゲイワンクランプリ
三月二十八日（日）

西部地区大会 西芸王（ウエスト）
ジャズドリム長島
あまる「コメディホラー寸劇」
参加。他多数

三月二十一日（日）

東部地区大会 東芸王（イースト）
横浜ベイサイドマリーナ
ゲイワンクランプリ

http://www.nitramike.co.jp/gei-one
ジャズドリム長島HP
http://www.jazzdream-outlet.com
横浜ベイサイドマリーナHP
http://www.bayside-outlet.com/

四月一日（木）～五日（月）

静岡浅間神社廿日会祭
浅間ビル前の歩行者専用道路
（祭期間中のみ）他
出演予定者
おいかどいちろう
（火を吹く河童）

あおき
（名占屋のコンビジャグラー）
ねにぬ（謎の怪人形）他

四月十七日（土）・十八日（日）

第二十八回 野毛大道芸
神奈川県横浜
静岡の大道芸人「彦一団子」
も出場。他多数

http://www.nogedaidougei.com/

Amusement Tao

静岡市青葉シンボルロードにて
毎週金曜 午後九時ごろ

七曲入りCD 「ATP」
千円にて絶賛発売中！
ライブ会場及びホームページにて購入可能です。
詳しくはホームページにてご確認ください。
http://www.taoweb.org

Misato & Shin

毎月、第一第三水曜日
（ある月は第五水曜も）
静岡市Woody Cloud
（054-221-8088）

午後九時～と午後十時三十分の二回ミュージックチャージ二百円

四月十七日（土）

浜松：ポルカドットスリム
（053-451-3936）
開場十九時 開演十九時三十分
前千五百円 当千八百円

四月二十三日（金）

静岡市：静岡市役所
ホットひといきコンサート

十二時～十三時 無料

四月二十五日（日）

静岡市：cafe bar HEAVEN
（054-221-8891）
午後八時～ tip in style

ホームページ

http://www.002.upp.sonet.ne.jp/sots/

ツーカーセラー東海

テレビCMに出演中

Misato & Shinが出演のツーカーセラー東海料金プランCMが二月から東海四県で放送が開始されました。

♪ごめんください♪い♪そらん♪家族に丁度いい♪のフレーズ、テレビから流れていませんか？

そう、あのMisato & Shinが歌い出演しているCM、もう皆さんはご覧になりましたか？

「親子は歌う」編と「夫婦は歌う」編の二本が放映中です。まだ見てない方は要チェックですよ！



【にやん助】

パフォーマー募集！

当会では、青葉通りでパフォーマンスを披露してくれるパフォーマーを随時募集しています。

プロ・アマ、ジャンルは問いません。お問い合わせ等、お気軽にどうぞ！

（最左部の連絡先まで）
当会は、静岡の街なかで日常的に大道芸を楽しめるまちづくりを目指しています。

サポーター（会員）募集！！

会の活動を応援してくれるサポーターを大募集中です！サポーターのみなさんには「しずおか大道芸新聞」をお届けします。

年会費は、一口五百円（年度単位）で、お一人様何口でも！

新聞スタッフ募集！！

しずおか大道芸新聞の編集スタッフを随時募集しています。単発の投稿や連載企画、イラスト等も大歓迎！

興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。新聞へのご意見やご感想もお待ちしております。

しずおか大道芸新聞 第十一号

二〇〇四年三月十九日発行

発行部数三〇〇部

編集・発行
しずおか大道芸のまちをつくる会
http://simerukai.kt.to2.com
（代表）ちり
〒422-8041

静岡市中田4-5-28-201
電話・070-5647-4024
hiko@tokai.or.jp

編集長 松浦 貴幸